

きれいにまとめる！
先行研究の整理法

博士後期課程 池田 和希

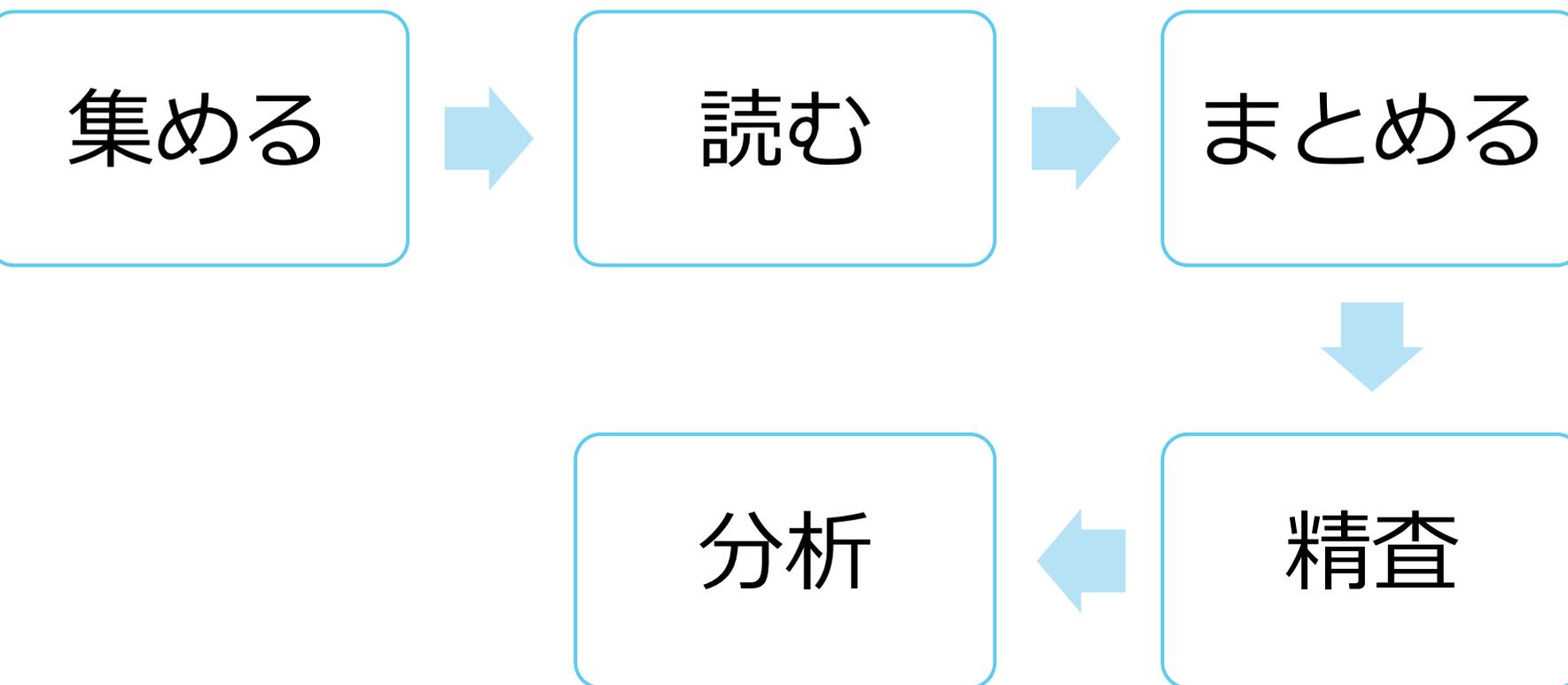
0.自己紹介

- 池田和希
- 所属：博士後期課程 国際社会専攻
- 学部：外国語学部
イタリア語科
- 専門：比較政治学・イタリア政治
- 研究テーマ：「南欧における政党間競争の変容」
- 同居人：カメ、カエル、ベタ
- LCシフト：火12時～16時・水12時～15時

0.本日の内容と配布資料

- 卒論執筆の大きな流れ
- 先行研究の大切さ
- 先行研究の整理法
- ①研究ノート
- ②ワーク
- 配布物：スライド、研究ノート（例）、ワーク

1.はじめに—卒論執筆の大きな流れ



1.はじめにー先行研究の重要性

- 先行研究の精査を受けての分析・実証
- 先行研究をいかに上手く整理できるか
- 論文全体の完成度に関わる



2. 先行研究の整理①

- 研究ノートを作成しよう！
- 研究ノートとは...
 - ▶ 研究に関するアイデア
 - ▶ 先行研究の要約
 - ▶ データのありか
 - ▶ Etc...
- ネタ帳のようなもの！
- Wordを使ってもよし！

2.研究ノートの作り方

- 先行研究の情報を記載
 - ▶ 執筆者、論文タイトルetc.
- 卒論に使えるような箇所を中心にまとめる。
- 先行研究自体には線引きなどで工夫を。

Ex. オレンジ...卒論に使える箇所

水色...論点

緑...用語の定義

2.研究ノートの作り方

➤ Ex. (つづき)

「なるほど！」 : 一重線

「その通りだ！」 : 点線

「それは違う！」 : 波線

「例外はないか？」 : 二重線



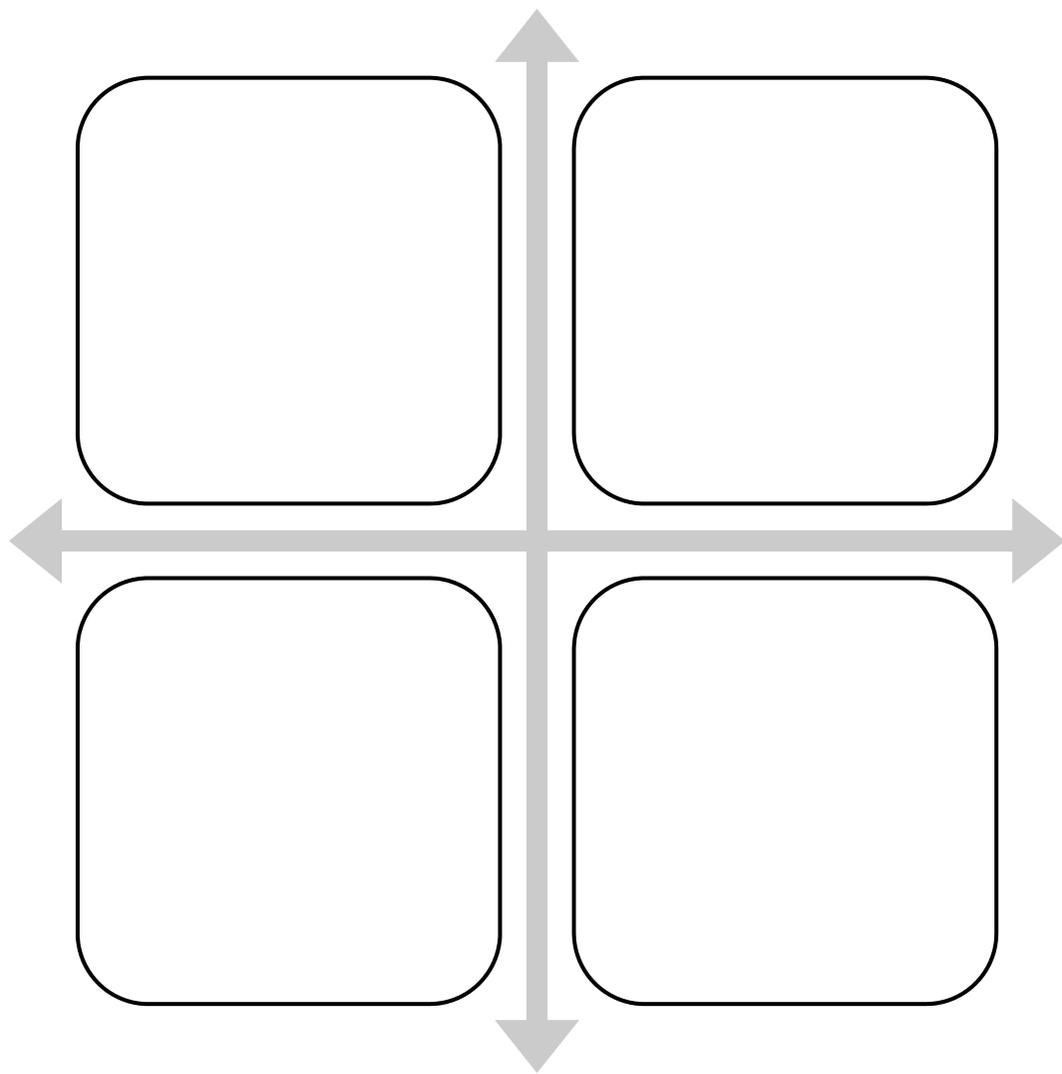
3. 先行研究の整理②

- ▶ 先行研究をある程度読めてきたら...
- ▶ 先行研究を整理するための「軸」を作ってみよう！

4. 先行研究の整理②-ワーク

- ① 付箋にこれまでに読んだ先行研究を挙げていきます（これから読む予定のものでもOK）。
- ② 挙げきったら、いくつかにはグループ分けしていきます。
- ③ 最適な「軸」を設定していきましょう。

5.ワーク



6.論文に落とし込んでみた

イタリアにおける「二陣営化」に関する研究

二陣営化以前の時代

第1章

第2節

第1章

第3節

クレー
ヴィッジ

政党システム

第1章

第2節

第1章

第3節

二陣営化から
二党化への時代



7.おわりに

- 以上のことを論文に落としこむとどうなるか...
 - ① 論文全体がよくまとまる（まとまって見える）。
 - ② 軸を設定して先行研究を整理することで、先行研究がカバーできていない「穴」を見つけることができる。
 - ③ 先行研究の見落としを減らせる。